

第4回花巻市行政評価委員会会議録

1 開催日時

平成23年10月14日（金）

■しごと部会、暮らし部会、人づくり部会 午後1時30分～午後4時

2 開催場所

花巻市南万丁目970番地5

花巻保健センター 2階 集団指導室、会議室

3 出席者

(1) 委員 13名

■しごと部会

影山部会長、佐藤委員、伊藤（純）委員、長澤委員

■暮らし部会

木村部会長、高橋（則）委員、永井委員

■人づくり部会

倉原部会長、瀬川委員、阿部委員、久保田委員、福盛田委員、菊池委員

(2) 事務局、施策及び事務事業担当課

4 議題及び報告事項

部会ごとに評価対象の施策及び事務事業の評価を行った。

■しごと部会

◆施策：まちぐるみ観光サービスの産業化

【主な意見】

- ・対象指標「ターゲットとする地域の人口」は、花巻空港や高速道路といった高速交通網の強みを活かしたターゲットの設定という視点があってもよいのではないかと。
- ・成果指標における目標値設定は、過去の実績を分析して設定すべきである。ただ単純に実績換算での右肩上がりの目標値設定はおかしいのではないかと。
- ・空港でつながる名古屋や北海道とのつながりを増やして、成果指標の実績値の改善を図ってもらいたい。
- ・東日本大震災の影響は避けられないと思うが、違う観点からの新規事業を企画する必要があると思う。
- ・どのシーズンの観光客入り込み数が多いか等を分析し、時季に応じた対応を考えるべきである。

- ・合併により増加した地域資源について、ターゲットとの関係やニーズに合わせた売り込みを行うべきである。
- ・人が住みたいまちにしていくことで、観光産業以外の人も取り込んだ観光振興が図られ、より事業の目的が明確になっていくのではないかと。
- ・市内の偉人について、子どもたちにもっと教えることで、花巻を訪れてもらうことにつなげていくべきだと思う。
- ・空港、新幹線、高速道路の強みを活かすとともに、市内における観光ルート（15分～20分間隔のミニバスルート等）を確立し、その足を確保すべきである。

○事務事業：外国人観光客誘致促進事業

【主な意見】

- ・活動指標に、IT関係を通じた広告宣伝に係る指標を設定してはどうか。
- ・新たな活動を加えなければ成果の向上は難しいと思う。
- ・世界遺産登録の平泉とのつながりを強化して、成果を向上させるべきである。
- ・事業費を増額して取り組むべきと考える。
- ・早池峰神楽をもっと活用し、外国人観光客にじっくりと見ていただき理解を深めていただきたいと考える。
- ・スマートフォンの普及により、動画サイトや口コミ情報など、ITを活用した情報発信が重要になってくると思う。
- ・岩手の四季の特徴を出した事業を展開していくべきである。
- ・重点戦略には、積極的に事業費を増額して取り組んでいくべきである。
- ・重点事業に対する事業費の拡充などの評価項目も付けていただきたい。

○事務事業：まちぐるみ観光推進事業

【主な意見】

- ・交流会館が、おもてなしニーズへの支援拠点となることを目的としているならば、おもてなし活動を行う団体の利用日数やおもてなしイベントの開催回数等を指標に加えるべきではないかと。
- ・成果指標に、観光ボランティアガイドの活動回数を加えてもよいのではないかと。また、登録人数だけでなく、質の評価をしていくべきである。
- ・人を呼び込む手法として、農業やものづくりなどとの連携があってもよいのではないかと。
- ・「連携」という視点であっても「他に手段がある」を選択すると、事業の統廃合になってしまう印象がある。
- ・「まちぐるみ観光」という意味合いでは、観光ボランティアガイドの活動だけでは弱いのではないかと。
- ・観光ボランティアガイドにおいて、高齢者に活躍いただくことで、生きがいつくりにもつながるといった側面もある。そういった分野と連携していくのもよいのでは

はないか。

- ・花巻の観光ルートは、温泉と宮沢賢治のみであり、まちなかが入っていない。まちなかを歩きたくなるような、覗きたくなるような取り組みが必要であると思う。
- ・交流会館の利用を高めるには、食堂やレストランが必要である。
- ・交流会館の利用普及は、立地場所を考えると難しいと思われる。まちなか（花巻城跡、鳥谷ヶ崎公園、万福跡地など）を活用したにぎわいづくりと観光ルートづくりが大事であると思う。

■くらし部会

◆施策：みんなで進める健康づくり

【主な意見】

- ・花巻市の早起きマラソンは、子どもから高齢者まで参加できるよい事業であるが、期間が秋までである。冬季に取り組めるスポーツの推進を行ってはどうか。
- ・健康はなまき 21 プランは字が大きくて見やすく、わかりやすいのでよい。
- ・食生活改善推進員は地域で積極的に活動している。
- ・健康に関する情報は、得やすく、見やすく、わかりやすいことが大切である。
- ・年齢によって必要な情報は異なると思われることから、各年齢層に配慮した情報発信を行ってはどうか。

○事務事業：健康づくり啓発事業

【主な意見】

- ・健康づくりについて家族で参加できる事業、家族で話し合える環境作りも必要ではないか。
- ・市民の関心が高い事業であることから、職員数、事業回数等を減らさず、普及啓発に努めてほしい。
- ・学校給食の食事時間が短いと感じている。今の子ども達は、忙しい朝は軽食、夜は家族別々の孤食になるケースが多いので、栄養バランスが考慮された給食だけはゆっくり味わって食事できるようになればよいと思う。家庭での実践が出来ればよいが、1日のうち最低でも1回はゆっくり食事を味わうことが大切である。
- ・健康福祉まつりには、中高生も参加できるような介護体験や就職相談会などの企画を盛り込んではどうか。

○事務事業：母子保健事業

【主な意見】

- ・地域医療機関との更なる連携強化が必要である。
- ・民間団体主催のイベントで開設した助産師相談コーナーに多くの人が並んでいたようだ。事業成果の向上のためには官民協力しての取り組みが必要である。
- ・震災時に地域のどこにどのような世帯が住んでいるのかを把握していることが大

- 事だと感じた。特に母子家庭へのケアが大切。地域でも取り組んでいきたい。
- ・各種予防接種の接種率が上がるよう啓発を進めてほしい。
 - ・市内の産婦人科が減少し、安心して子どもを産む環境に不安があるので、医師確保に努めてほしい。
 - ・あまり負担に感じない程度の料金で子どもを預けることができる場所が増えれば安心である。
 - ・不妊は女性の精神的な負担が大きいので、メンタルケアにも配慮してほしい。

■人づくり部会

○施策：豊かな心を育む生涯学習の推進

【主な意見】

- ・生涯学習という幅広い分野のなかで、「学習テーマを持って日頃学習に取り組んでいる市民の割合」というひとつの指標だけで評価を進めることは疑問であり、アンバランスであると思われる。もっと多面的に測定を行わないと、この施策のテーマの評価に近づいていかないのではないかと。(現在の指標はこれでよいと思うが、他にも適切な指標があるのではないかと。また、複数の指標があったほうがいいのではないかと。)
- ・内部評価どおり、目標値より低い実績であるが、目標設定が厳しいのではないかと。(働いている若い層が毎月学習活動を行うことは難しく、年に数回程度学習活動を行っている割合も加えてもいいのではないかと。)
- ・施策全体が生涯学習の内容の流れになっているなかで、国際交流の内容は唐突な感じであり、全体との関わりがわかりにくい。
- ・過去に設定した指標の枠でしか評価を行っていないが、新たに適切な指標を導入したほうが中身のある評価になるのではないかと。(この分野に限らない。)
- ・国際交流の事業も含まれている施策であるのに、生涯学習にだけスポットが当たっている。国際交流に関する指標もあれば分かりやすいのではないかと。

○事務事業：生涯学習活動支援事業

【主な意見】

- ・講座の参加者数なども指標に取り入れたほうがいいのではないかと。
- ・記載されている内容が、中間評価になっていない。事業の進捗状況等が示されればよいと思う。
- ・事業費の削減余地において、自主的な活動が行われるようにならなければ削減はできないということで、効率性においては、見直しの余地はあるのではないかと。
- ・トータルコストは変わらなくても、内容のスクラップ&ビルドにより中身を見直し、新しいものを盛り込んでいったほうがよい。
- ・全体的に、与えられる情報が評価を判断できる内容になっていない。
- ・この事務事業に限らず、中間評価の内容が不十分である。

○事務事業：国際交流推進事業

【主な意見】

- ・事業の意図で、「市民の国際感覚の醸成を図る。」としているが、国際感覚とは何か。これを表す成果指標をどこで見るのか疑問である。
- ・合併したからといって、全てを花巻の基準にせず、合併前に育て上げた交流を各地域で活かし、反映させることが、真の公平性に繋がるのではないか。
- ・予算規模が大きいなかで、事業成果の還元方法の工夫が必要なのではないか。何がどのように行われているのか、市民にはなかなか見えてこない。

6 傍聴人数

1人

7 問い合わせ先

花巻市政策推進部企画調整課

電話番号：0198-24-2111（内線212）